



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月1日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	14,856	△6.6	102	△57.6	117	△53.8	45	△72.1
26年9月期第2四半期	15,912	14.2	242	95.1	255	95.9	162	62.9

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 217百万円(33.4%) 26年9月期第2四半期 162百万円(△26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	9.67	—
26年9月期第2四半期	34.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	14,110	4,675	33.1	994.95
26年9月期	13,614	4,535	33.3	965.31

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 4,675百万円 26年9月期 4,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,900	4.2	325	23.4	345	18.8	190	29.7	40.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	4,800,000株	26年9月期	4,800,000株
27年9月期2Q	101,075株	26年9月期	101,075株
27年9月期2Q	4,698,925株	26年9月期2Q	4,699,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算単身の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより穏やかに回復基調で推移してまいりましたが、消費税増税や物価の上昇による個人消費の落ち込みや急激な円安による原材料費の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

しかしながら、前年同四半期と比べ、売上高は、148億56百万円と10億55百万円(△6.6%)の減収、営業利益は、1億2百万円と1億39百万円(△57.6%)の減益、経常利益は、1億17百万円と1億37百万円(△53.8%)の減益、四半期純利益は、45百万円と1億17百万円(△72.1%)の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業をはじめとし、素材産業を含む製造業が高稼働を維持したことにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、納期の遅れや大学等の残予算消化の遅れなどにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で68億1百万円と62百万円(△0.9%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、6億25百万円と0百万円(0.1%)の増益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、需要増や検体数の増加などにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、新規納入分が計画とおり進まなかったため前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で64億18百万円と6億96百万円(△9.8%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、5億27百万円と1億43百万円(△21.4%)の減益となりました。

(食品)

食品添加物は、円安による原料等の高騰や消費低迷の影響による生産調整などにより前年同四半期を下回りました。また、この結果、売上高は、14億85百万円と82百万円(△5.2%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、1億26百万円と8百万円(△6.5%)の減益となりました。

(その他)

その他は、消費税増税前の駆け込み需要の影響等により前年同四半期を大きく下回りました。また、利益については、仕入先からのリベートが増加しました。この結果、売上高は、1億51百万円と2億15百万円(△58.6%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、30百万円と11百万円(59.2%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億96百万円増加し、141億10百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、3億56百万円増加し、94億35百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億39百万円増加し、46億75百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、現金及び預金が3億36百万円及び投資有価証券が2億6百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、支払手形及び買掛金が3億79百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、有価証券評価差額金が1億72百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3億34百万円増加し、11億43百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は4億31百万円(前年同四半期は、8億8百万円の取得)となりました。主な要因は、仕入債務の増加額3億77百万円及び税金等調整前四半期純利益1億29百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は28百万円(前年同四半期は、12百万円の取得)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出8百万円等があったものの、投資事業組合分配金による収入44百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は1億24百万円(前年同四半期は、1億5百万円の使用)となりました。主な要因は、配当金の支払額70百万円及び長期借入金の返済による支出34百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成26年11月14日に公表した通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が14,821千円増加し、利益剰余金が9,574千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	961,827	1,298,166
受取手形及び売掛金	6,816,204	6,695,236
商品	868,267	969,525
繰延税金資産	33,207	29,034
その他	303,970	319,417
貸倒引当金	△3,606	△1,715
流動資産合計	8,979,871	9,309,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	451,396	435,151
土地	1,650,849	1,650,849
リース資産(純額)	97,477	148,088
その他(純額)	285,574	287,285
有形固定資産合計	2,485,298	2,521,375
無形固定資産		
のれん	97,344	81,120
その他	15,142	15,856
無形固定資産合計	112,486	96,976
投資その他の資産		
投資有価証券	1,009,169	1,215,462
リース投資資産	198,050	142,393
その他	870,013	865,291
貸倒引当金	△40,510	△40,508
投資その他の資産合計	2,036,722	2,182,638
固定資産合計	4,634,507	4,800,990
資産合計	13,614,379	14,110,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,144,723	7,524,477
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	142,934	153,003
未払法人税等	94,168	77,390
賞与引当金	62,695	57,190
その他	191,093	164,589
流動負債合計	8,134,374	8,475,412
固定負債		
長期借入金	258,420	224,040
リース債務	266,036	249,546
繰延税金負債	141,891	196,189
退職給付に係る負債	88,484	100,297
役員退職慰労引当金	153,849	158,301
その他	35,427	31,685
固定負債合計	944,108	960,061
負債合計	9,078,483	9,435,473
純資産の部		

株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,605,010	2,570,369
自己株式	△46,313	△46,313
株主資本合計	4,260,196	4,225,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,775	471,725
退職給付に係る調整累計額	△23,076	△22,099
その他の包括利益累計額合計	275,699	449,626
純資産合計	4,535,896	4,675,181
負債純資産合計	13,614,379	14,110,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	15,912,380	14,856,742
売上原価	14,461,776	13,546,305
売上総利益	1,450,604	1,310,436
販売費及び一般管理費	1,207,809	1,207,481
営業利益	242,794	102,954
営業外収益		
受取利息	2,699	1,938
受取配当金	4,583	5,635
受取手数料	5,348	5,185
保険解約益	—	4,072
その他	4,740	3,922
営業外収益合計	17,372	20,754
営業外費用		
支払利息	4,584	4,397
持分法による投資損失	19	668
その他	186	696
営業外費用合計	4,791	5,763
経常利益	255,375	117,946
特別利益		
固定資産売却益	313	—
投資事業組合運用益	22,805	13,425
受取和解金	4,477	—
特別利益合計	27,596	13,425
特別損失		
固定資産除却損	775	82
投資有価証券評価損	—	2,050
会員権評価損	1,425	—
リース解約損	4,835	—
特別損失合計	7,036	2,132
税金等調整前四半期純利益	275,935	129,239
法人税、住民税及び事業税	112,341	73,894
法人税等調整額	914	9,927
法人税等合計	113,255	83,821
少数株主損益調整前四半期純利益	162,679	45,417
四半期純利益	162,679	45,417

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	162,679	45,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256	172,949
退職給付に係る調整額	—	△977
その他の包括利益合計	256	171,971
四半期包括利益	162,936	217,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,936	217,389
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	275,935	129,239
減価償却費	39,226	40,185
投資事業組合運用損益(△は益)	△22,805	△13,425
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,050
引当金の増減額(△は減少)	△7,610	△2,777
受取利息及び受取配当金	△7,282	△7,574
支払利息	4,584	4,397
持分法による投資損益(△は益)	19	668
固定資産除売却損益(△は益)	462	82
のれん償却額	16,224	16,224
売上債権の増減額(△は増加)	△971,240	98,604
たな卸資産の増減額(△は増加)	91,616	△101,258
仕入債務の増減額(△は減少)	1,475,125	377,085
その他	△41,551	△25,067
小計	852,702	518,434
利息及び配当金の受取額	7,886	7,508
利息の支払額	△4,592	△4,407
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△47,860	△90,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	808,135	431,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,287	△4,836
無形固定資産の取得による支出	△1,990	△1,791
投資有価証券の取得による支出	△8,276	△8,934
投資事業組合からの分配による収入	37,900	44,700
その他	18,890	△909
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,236	28,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,460,000	2,490,000
短期借入金の返済による支出	△2,460,000	△2,490,000
長期借入金の返済による支出	△34,380	△34,380
配当金の支払額	△56,135	△70,185
自己株式の取得による支出	△116	—
その他	△15,324	△20,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,957	△124,726
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	714,415	334,535
現金及び現金同等物の期首残高	604,075	809,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,318,490	1,143,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,863,563	7,114,325	1,567,714	366,776	15,912,380	—	15,912,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,863,563	7,114,325	1,567,714	366,776	15,912,380	—	15,912,380
セグメント利益	624,498	671,381	135,750	18,973	1,450,604	—	1,450,604

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,801,147	6,418,308	1,485,589	151,696	14,856,742	—	14,856,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,801,147	6,418,308	1,485,589	151,696	14,856,742	—	14,856,742
セグメント利益	625,404	527,937	126,890	30,203	1,310,436	—	1,310,436

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。